令和元年度　　学力向上を図るための全体計画（仲町小学校）

関係法規等
・日本国憲法・教育基本法・学校教育法
・学習指導要領・東京都教育委員会教育目標
・練馬区教育委員会教育目標

学校教育目標
○　かしこい子
○　心ゆたかな子
○　たくましい子

教師・保護者・地域の願い
・挨拶・言葉遣いを正しくしてほしい。
・基礎的な学力を身に付けてほしい。
・思いやりの心をもってほしい。

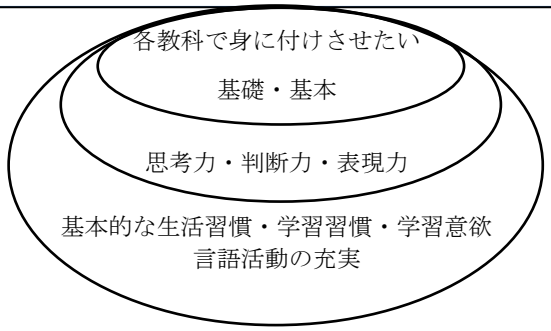
各教科の重点
○個々の児童に応じた指導を行い、学習の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
○児童の学ぶ意欲を高めるためにTT・少人数指導・習熟度別指導・交換授業等、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）
・基礎的・基本的な学習指導を重視するとともに評価の工夫・改善を図る。
・児童の興味・関心を大切にした指導内容・方法の改善を図り、確かな学力の定着を図るとともに、柔軟な思考力や豊かな感性を育成する。
・地域の人材や教材を積極的に活用し、体験的な学習を進める。

道徳教育の指導の重点
○特別の教科　道徳を中心として、社会規範・行動様式の内面化を図り、家庭や地域と連携し、思いやりの心や協力する気持ちを大切にした道徳的実践力を育成する。
○教育活動全体を通して道徳的心情・判断力・態度を育成する。
○道徳授業地区公開講座を実施し、学校・家庭・地域社会の連携による道徳教育を推進する。

総合的な学習の時間の重点
○児童の興味・関心を生かし、教科から発展させた課題や地域の特色を生かした課題を設定し、児童自ら課題解決に取り組む態度や能力を育てる。
○課題解決のために、外部指導者との協力指導や様々な学習方法等を工夫する。

本校における　「確かな学力」



特別活動の指導の重点
○学級活動および児童会活動の充実を図るとともに、望ましい集団活動を通して豊かな人間関係を育む。
○学校行事における体験的な活動を通して、喜びや苦労を分かち合い、集団への所属感や一体感を深める。
○クラブ活動を通して、興味・関心を追究する活動を行い、個性の伸長を図る。

外国語活動の重点
○外国語活動を通して、相手の思いを理解したり、自分の思いを伝えたりするコミュニケーション能力の育成を図る。

キャリア教育の重点
○日常の学習の中で、児童一人一人が自分の能力やよさに気付き、自己の可能性を追求する態度を育てる。
○地域で働いている人や地域の人々と触れ合うことにより、望ましい勤労観・職業観を身に付け、自分の生き方について考えるようにする。

生活指導の重点
○職員全員が共通理解のもと、組織的に課題の解決にあたり、心身ともに健やかな児童の育成を図る。
○児童の心の悩みの解決のために、支援員、相談員、養護教諭、SC、担任との連携を十分にとる。
○児童の安全を守るため非常時における緊急対応や連絡体制の整備をするとともに安全指導の徹底を図る。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
○算数科の習熟度別指導を行い、基礎基本の定着を目指す。 ○体験的・問題解決的な指導を重視する。 ○地域の人材や教材を授業に生かす。 ○話し合い活動や伝え合い活動を充実させた授業を展開する。 ○ICTを活用し、視覚や聴覚など、様々な視点で学べるようにする。	○週に１回、朝学習を行い、学力の基礎・基本の確かな定着を図る。 ○読書、長なわ週間、パワーアップタイム及び保護者の読み聞かせ、週１回の朝読書を実施する。栄養士や調理師と連携し、食育についての学習を行う。 ○異年齢集団や隣接学年などの交流を日常的に取り入れ児童の好ましい人間関係を育成する。	○特別の教科道徳の研究を基に、年６回の研究授業を行い、認め合い、共に学び合う児童の育成を目指す。 ○１～３年次の教員による１人３回の研究授業及び協議会や主幹教諭、主任教諭に　よるミニ講座など、OJT研修を充実させることで、基本的な授業の進め方について全員で再確認する。	○授業や諸活動の中で、随時適切な評価を加え、その結果を指導に生かす等、評価と指導の一体化を目指す。 ○学習の中で、児童が相互評価、自己評価をし、それをもとに新たな課題を設定できるように工夫する。	○土曜授業を含め年間９回の授業公開を実施する。 ○学校公開の保護者の感想や外部評価を授業改善に生かす。 ○保護者・地域の方々を講師にした体験学習を充実させる。 ○学校評議員による学校運営への参加を進める。 ○保育園・幼稚園と１年生の交流を深め、児童が入学時にスムーズに生活できるように連携をする。 ○地域の行事になるべく参加し連携を図る。	○校区別協議会の協議内容を活かし、中学校での学習を意識した学習活動を行う。 ○９年間を見通した課題改善カリキュラムを作成し、活用する。 ○外国語、体育を重点とし、９年間を見通した教科指導の連携を図り、効果的な指導を工夫する。

◎授業改善の検証方法：東京ベーシックドリルを活用した学期に１回のテスト結果による分析。ワークテストや小テストの結果による分析。
児童・保護者による学校評価（年１回）の実施。教員による自己評価（年２回）の実施。
小中一貫教育グループでの実態調査による分析。